

2012. 1. 15 発行

[発行] NPO法人 こころの応援団

発行人 千代田すみ子

〒379-1403

群馬県利根郡みなかみ町猿ヶ京温泉1514-1

TEL 0278-66-0999

FAX 0278-66-1000

E-mail office@npo-kokoro.com

URL http://www.npo-kokoro.com



- 開催日 平成24年2月18日 (土)
- 集合 沼田福祉センター 8:00
新前橋駅ターミナル 8:00
- 開催場所 谷川岳山麓周辺
- 内容 谷川岳山麓をスノーシューで散策とゲーム
- 参加費 ¥2,000 (昼食代、スノーシューレンタル代、保険を含む)
但し、当事者の方は無料です
- 参加定員 25名
- 対象者 心の病を理解し一緒に行動できる方と当事者の方
- 持ち物 手袋、帽子、リュックサック、タオル
濡れにくい防寒服、常備薬、予備の飲み物
- 申し込み 2月8日(木)までに こころの応援団事務局にご連絡ください。



**スノーシューは誰でも簡単！
楽しいよ (^u^)**



NPO法人 こころの応援団 は心に病を抱える方々と一緒に活動するボランティアグループです。

こころの応援団 ENJOY事業…報告

このエンジョイ事業は、心に病を抱える方と一般の方たちをつなげる活動で、一緒に行動することにより理解の輪が広がることを願っています。また、この事業に、たくさんの方々のご協力くださり、心より感謝申し上げます。

エンジョイコンサート 2011/9/17

ENJOY Concert



毎年来てくださっている「アバ音楽の森」に所属するクラシック演奏者。奏でる音にうっとり…でした。

今回初めて来てくださった「青木襄児トリオ」3人のキャラが…耳と目と心で楽しめました。

谷川岳ロープウェイ山頂でクラシック&ジャズのコンサート

エンジョイ事業初めての悪天候の中でしたが、霧につつまれた会場は神秘的で、より一層いい感じでした。

うっとり…、手拍子、一緒に スウィング (´u`), ソング~♪



エンジョイ紅葉の森 2011/10/15

ENJOY 紅葉の森



大清水周辺の紅葉の美しさに魅了されました

尾瀬登山口の大清水は美しい姿を私たちに見せたがっているようでした。こころの応援団メンバーも南相馬から避難されている方々もその美しさに圧倒されっぱなしでした。



今回は、福島より避難されて7ヶ月間群馬にいらした方々と一緒でした。この後、福島の南相馬市仮設住宅に移られました。群馬県最後の思い出となってくれたらうれしいです。



エンジョイトーク 2011/11/5

ENJOY トーク



今年のエンジョイを録画した映像を一緒に見ました

沼田福祉センターにてお茶を飲みながらエンジョイの録画映像の中に自分の姿を探したり、楽しかった思い出を共有したりしました。

来年はどこで何を…?

参加者の興味はもう来年に向かっていました。



映像撮影は群馬情報メディア機構の板橋さんが一年を通じ撮影してくださいました。

平成23年のNPO法人こころの応援団のエンジョイ事業は、ボーイング社の助成金によって「支えあいましょプロジェクト」として支援されました。この支援は終了しましたが、今後もNPO法人こころの応援団は「支えあいましょプロジェクト」を継続していきます。もちろん、エンジョイ事業もそのひとつです。

こころの応援団 ENJOY事業…予定

詳細はこころの応援団事務局へお問い合わせください。

2012年1月21日(土)	ENJOY New Year	(新年のスタートを一緒にお祝いしましょう)
2012年2月18日(土)	ENJOY Snowshoe	(谷川岳山麓をスノーシューをはいて雪の上を楽々一緒に歩きましょう)
2012年3月 3日(土)	ENJOY パーカッション	(打楽器を体験して一緒に音を楽しみましょう)
エンジョイ事業は参加者のアイデアも実現していく楽しい集まりです。参加はご自分で行動出来ればどなたでもOK。当事者は参加費無料。まだ参加されていない方、是非参加してみてください。		

東日本大震災復興支援活動報告

こころの応援団 の復興支援プロジェクトは現在、日本財団ROADプロジェクトや財団法人JKAリングリングプロジェクトにより支えられ実施しています。

こころの応援団は東日本大震災の支援活動においても、
人と人の絆をつなぎ、寄り添うことを大切にしています。

気仙沼で6月より始めた仮設住宅集会所のサロン事業はこころの応援団が掲げる「支えあいましょうプロジェクト」のもと、現在も活動中です。毎月1回ですが、気仙沼唐桑半島の皆さんと一緒に楽しみ、人と人の絆をつないでいます。

「楽しみにしていたよ」「おかえり」
「こうして集まるのいいね」「楽しかったよ」・・・
「仕事が始まったのよ」「お父さんが海に出たのよ」
「カキの養殖、順調に進んでるよ」
「次は何する?」「来月はいつ?」

こんな声と笑顔、力強い握手や抱擁が、私たちのエネルギーに変わります。

どちらが応援されているのか… 不思議に思うことさえ…
不安で、一人では立ってられないほど辛い日々を過ごしてきた方々なのに、なんてたくましく力強いのか…
すごいです。



落語を公演してくださった柳家笑多さんは、ガレキ撤去のボランティアにも来ていただきました。

笑多さん 「立川談志師匠…私よく知ってるんですよ」
参加者 「へ〜…」
笑多さん 「だけど相手は私を知らないんですね…」
参加者 …爆笑!

気仙沼市での復興支援活動



やすき節(どじょうすくい)も一緒に踊っちゃいました!



話が弾んで、辛いことも一時忘れ、楽しいひと時と一緒に過ごしているみたいです。

ひとりじゃないよね…



仮設住宅とは別ですが…

気仙沼市の幼稚園の子供たちや先生を応援したい

津波で被災し、キッズルームおひさまは、仮設の倉庫のような場所で開園しています。何とか本格的な開園ができないものか…助成金申請中
子供たちに楽しいイベントもプレゼントしたいね!

遊びに出かけると、子供たちは元気で人なつっこいんです。

南相馬市の方々に寄り添って聴く



群馬県東吾妻から福島にもどる直前の被災者からお茶のみをしながら群馬の思い出を伺いました。「群馬に来てよかった」その言葉はうれしかったです。

3月に群馬県に避難されて来た南相馬の方々と知り合い、こころの応援団は「寄り添って聴く」ことを大切にしつつお付き合いを重ねてきました。



南相馬の仮設住宅初日不安と期待が交差してまだまだ安心できないよ…



被災された男性は「被災後初めて南相馬に入ったよ」と顔では笑っているけれど…

こんな時、女性はやっぱり意欲的! 「一時帰宅中に家を片付けしなくちゃ…!」



群馬の温泉地に避難されていた皆さんは仮設のお風呂の狭さに…そこで、皆さんの声に応え、みんなで温泉に行きました。



南相馬の仮設住宅集会所にて、みなさんのお話しを伺いました。



群馬に残ることを選択した被災者と共に活動し続けています。



今日は、伊勢崎市の料理研究家のしのぶさん宅で料理教室を兼ねたミニサロンを楽しみました。

そして、今…福島の方たちは大きく3つに分かれています。

福島へ帰ることを選択した方たち。
徐々に帰る人がいる中、それでも帰らないことを決断した方たち。
そのどちらにするべきか迷っている方たち。
こころの応援団はその方たちに寄り添い、今後も支援していきたいと思っています。



情報コーナー

利根沼田障害者相談支援センター

沼田市役所東原庁舎内（沼田保健福祉センターとなりの建物で、元合同庁舎）

平日午前8時30分～午後5時15分 無料 連絡先 0278-25-3781

こころの応援団もご相談を受けています。 NPO こころの応援団事務局 0278-66-0999

すぐには解決できないかも…だけど、話すだけでも心は軽くなるかもしれません。

（但し、活動などで電話にでられない時もあります。何度か連絡してみてください。）

こころの県民講座

「災害時のこころのケア～いま、一人ひとりができること～」

開催日 平成24年1月22日（日）午後2時～4時

会場 群馬会館ホール

（所在地：前橋市大手町2丁目1-1）

定員 400名（先着順）

申し込み 平成1月20日（金）まで

申込み問合せは心の健康センターへ 027-263-1166

被災者のつぶやき

- ・避難先が群馬でよかったと心から思っています。
- ・仮設住宅に入ってほっとしたけれど、お風呂が狭い。
- ・避難先でいつも一緒だったのに…
- ・（集会所に集まった時に）こうしてみんなで集まるのは、うれしいね。
- ・春になったら群馬にもう一度行きたいね。
- ・「早く群馬にかえりた～い！」
- ・除染したから帰って来いって言われても…心配はなくなるのよ。安心できない。
- ・群馬に住んで、仕事をして、子供は学校へ行っている、これは日常じゃないの。

うれしい言葉も、胸に刺さるような言葉もしっかり受け止めました。そして、今、私たちに何ができるのか一緒に考えてみましょう。

編集後記

2012年がスタートしました。

昨年末より谷川岳は裾野まで真っ白です。本格的な冬を実感します。この寒さを被災地ではどう過ごすのか…。心配です。体感の寒さは温かい衣類や暖房でやり過ごすことはできますが、心の寒さは物では温められません。人の心を温められるのは人の心だと私は思います。だからこそ、人は人とつながって支え合うのでしょう。被災地だけでなく世界中の人がつながりあって支え合うことが出来れば、心はあったかくいられるのでしょうか。そんな世の中にしたいですね。

千代田すみ子



つながろう心と心と…
支え合おう人と人…

いざという時の連絡先

こころの健康センター 027-263-1156

群馬いのちの電話 027-221-0783

（毎月10日のみフリーダイヤル 0120-738-556）

その他、市町村役場内福祉課や利根沼田保健福祉事務所



出合い こころの応援団 会員の広場

世界の人口が20億を超えた。人生のなかでどれだけの人に出会えるのか考えると、今ここにこうして皆さんと出会えた事は「奇跡」だ。私は8年前に主人の病気の確定診断を受け、人生が終わったような気分打ちのめされた。しかし、コーチング・加圧トレーニング・こころの応援団・山歩き、ライアー（竖琴）の仲間達、そして身近な子供や孫達が私を支え、私のエネルギーを生みだしてくれ、あの時の打ちひしがれた自分がうそのようだ。

辛いことや悲しいことがあっても頑張れるパワー「私はひとりじゃない」と思える幸せ。そのパワーが

他の人を支えるパワーへとつながる。

震災以降「絆」を意識し、支え合って生きる大切さを皆再確認した。

出合いは絆となる。その出合いは偶然ではなく必然なのだ。

みどり

絆

ご寄附ありがとうございました

伊勢崎市 宇野 様 桐生市 中山 様
沼田市 角田 様 邑楽町 小島 様
沼田市 鈴木 様 柏市 山本 様
前橋市 板橋 様 その他匿名の方々

皆様からのご寄付は当法人のENJOY事業や被災地支援で大切に使用させていただきます。



NPO法人 **こころの応援団** の活動のためにご支援をお願いします。

年会費 活動会員 1,000円

賛助会員 10,000円

寄付会員 任意

※ ご送金の振込先は下記のいずれかをお願いします。

【銀行口座】群馬銀行 沼田支店 普通口座 1496933 【郵便振替口座】 00140-5-671545

【口座名義人】特定非営利活動法人 こころの応援団

